

タイ国際航空、関西国際空港へ 大型旅客機『エアバスA380型機』を再就航

タイ国際航空(東京都千代田区有楽町1-5-1 日比谷マリビル)は、5月17日より、『エアバスA380型機』(ロイヤルファーストクラス:12席、ロイヤルシルククラス:60席、エコノミークラス:435席、総座席数507席)を関西国際空港へ再就航いたします。

同社は2013年12月から2015年7月まで、総2階建ての大型旅客機エアバスA380型機を関空-バンコク路線に投入しており、たくさんのお客様よりご好評をいただいております。この度、旅客需要の増加を受け、1日2便(2往復)運航する関空-バンコク便のうち、関空を昼に出発するTG623便と、バンコクを深夜に出発する622便にて同機材によるサービスを再開いたします。

5月17日以降、関西国際空港にエアバスA380型機を定期便として就航するのはタイ国際航空のみとなります。なお、タイ国際航空では、エアバスA380の関西国際空港再就航を記念し、同機材運航便、TG623便利用限定のプロモーション運賃「TGスーパーディール関西」(バンコク行きエコノミークラス往復38,000円)を販売致します。詳しくは、下記のホームページをご参照ください。

http://thaiair.co.jp/special/spdeal/s16_sd_osa/index.html



【エアバスA380型機】

【TG623/622便のスケジュール】

出発地	便名	運航日	出発	到着	A380運航期間
大阪(関空)発	TG623	毎日	大阪11:45発	バンコク15:35着	2016年5月17日~10月29日
	TG622		バンコク23:30発	大阪07:00着(翌日)	2016年5月16日~10月29日

◎タイ国際航空とは

タイ王国のナショナルフラッグキャリア、タイ国際航空。バンコクを基点とし、タイ国内はもとより近隣アジア各国、オーストラリア、ヨーロッパ、中東、北米へとルートを広げ、現在60都市以上に乗り入れています。日本への乗り入れは、運航開始と同時の1960年5月。最初はバンコク-東京(羽田)線を就航させました。1964年9月には大阪、1988年10月には名古屋(日本航空との共同運航)、1992年10月には福岡、そして2012年10月には札幌へと次々に乗り入れ、現在、日本-タイランド間では週70便以上(コードシェア便を除く)運航しております。